

# 教育研究業績書

2018年05月14日

所属：看護学科

資格：准教授

氏名：清水 佐知子

研究分野	研究内容のキーワード
医療の質・安全に関する研究、看護マネジメントに関する研究	
学位	最終学歴
博士（経済学）	神戸大学大学院国際協力研究科博士後期課程

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 教育方法の実践例</b>		
1. ケーススタディを用いた組織学習の理解	2017年4月～ 現在	武庫川女子大学大学院看護学研究科にて開講する講義科目「看護マネジメント論」（修士2年次、選択、2単位）において、ケーススタディを導入し組織マネジメント、組織学習の理解を図る授業を行った。
2. 医療の質向上・患者安全に関する教育プログラムの開発と実践	2006年4月2013年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者安全教育において「To error is human」は広く認識されているが、就業経験のない学生には理解が難しい面がある。そこで「行動は構造から引き出される」ことを理解するために、小グループで生産流通システムゲームを行い、システムの硬直性、コミュニケーションの重要性を学ぶ学習プログラムを開発し、大阪大学にて博士前期課程大学院生、学部2年生に対して教育実践を行った。</li> <li>・学生にもわかりやすいよう簡略化した医療事故事例を作成し、小グループで根本原因分析を行うことで、①事故の経緯、②根本原因、③再発防止策を導き出す演習を行った。</li> </ul>
<b>2 作成した教科書、教材</b>		
1. 基礎看護学実習Ⅱ要項	2016年11月	武庫川女子大学看護学部実習科目「基礎看護学実習Ⅱ」（専門教育科目、2年次配当、必修2単位）において学生の実習が円滑に進むために実習目的、実習目標、実習計画、提出物、記録の様式、倫理的配慮、その他留意事項から構成される実習要項を作成した。実習要項に基づき実習オリエンテーションを行うことで、学生は円滑に実習を行い、また実習目的・目標に沿って実習を行うことができた。
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
<b>4 その他</b>		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 資格、免許</b>		
1. 保健師免許	2003年8月21日	
2. 看護師免許	2003年8月21日	
<b>2 特許等</b>		
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
1. 高校生への模擬授業の実施	2016年9月28日	大阪夕陽丘高校の学生に対し模擬授業を行った。具体的には「生命の兆候を聞いてみよう」と題し、血流音や呼吸音、心音の聴取の技術演習を行った
<b>4 その他</b>		
1. 武庫川女子大学 教務委員	2016年4月1日～ 現在	

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
<b>2 学位論文</b>				
<b>3 学術論文</b>				
<b>その他</b>				
1. 学会ゲストスピーカー				

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
6. 研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等

年月日	事項
1. 2017年9月12日	武庫川女子大学スタートアップ支援講座「統計学セミナー」講師
2. 2017年8月17日	認定看護管理者教育課程セカンドレベル講師（兵庫県看護協会）
3. 2017年8月11日	女子中高生の理系進路選択支援プログラム ひょうご理系女子未来塾「未来カフェ～社会人からのメッセージ～」座談会
4. 2017年1月10日～2017年9月30日	第48回日本看護学会慢性期看護学術集会抄録選考委員
5. 2011年6月	第5回ITヘルスケア学会学術大会プログラム委員長
6. 2011年1月10日～2011年9月30日	第42回日本看護学会成人看護Ⅰ・Ⅱ（合同）学術集会抄録選考委員
7. 2009年9月	認定看護管理者教育課程サードレベル講師（広島県看護協会）
8. 2009年6月	大阪電気通信大学運動指導者のためのスキルアップ講座講師
9. 2009年11月～2013年3月	ITヘルスケア学会学会誌編集委員会委員
10. 2008年4月～2010年3月	大和高田市立病院看護研究講師
11. 2006年4月1日～2006年12月31日	第26回日本看護科学学会実行委員